

# 福岡 泉水



福岡 泉水(ふくおか いずみ)  
淡路市出身。高校3年生の時、福岡県にあるポートレーサー養成所に合格。養成所を卒業後2016年にポートレース尼崎でデビューを飾る。尼崎市在住。

ポートレーサー  
ポートレース尼崎所属

## 勝利目指して日々練習

デビュー戦は「尼崎あんかけチャンポン杯」。尼崎のご当地グルメの名前が冠のレースでした。結果はフライングをしちゃって。デビュー戦ということもあって、多くの方が応援に来てくれていたのですが、ほんと、申し訳なくて。他の艇が気になって、勝ちたい気持ちだけが空回りした感じでした。

### 高校3年生の時に決意

ポートレーサーになる！と決めたのは高校3年生の時。10月に高校をやめて、養成所に入りました。どれだけ苦しいことがあっても頑張ろうとの覚悟でした。養成所では、人生の中で一番勉強し、一番多く怒られました。自分の勉強に割けるのは、自習の時間と自由時間の各1時間です。試験前は、食堂で列に並ぶ間



もノートを眺め、必死に覚え直した。仲間と切磋琢磨することで、技術面のみならず、精神面も鍛えられました。

デビューした今も日々、勉強です。レース期間中は、出場する全選手が宿舎に缶詰めになります。勝負している選手同士ですが、ピリピリする感じではなくて、レースの話もしますし、先輩から助言もいただきます。過ごし方も選手によってまちまちですが、何気ない会話の中にも、上手くなるヒントがあるかもしれないので、私にとっては大切な時間です。

### トレーニングは自分で

ポートレーサーには、出勤日というのが特にあるわけではないんです。なので、レース日以外に何をするかは自分で決めます。練習日も練習内容も。ポートに乗る

以外では、体力づくりで武庫川の河川敷でランニングをしています。最近は、ボルダリングもはじめました。体幹のトレーニングになると思っています。オフの日はショッビングが一番のリフレッシュ。洋服を選んでいくのが楽しいですね。

### よく話し掛けられる町

尼崎に住むようになって一番感じるのは、気軽に声を掛けてくれる人が多いということです。先日は電車に乗っているときに、隣の席に座ったおばあさんに話し掛けられました。もちろん、普段着なので私がレーサーだと知らないのに、新聞を広げて、「競艇場に行ってきたんよって。それで、今度私も出場しますよって話しらびっくりされて、「応援しに行くね！」って。うれしかったですね。

尼崎には、A1級というトップクラスで活躍を続ける女性選手がいます。その方を目標に、まずは1勝。練習して、技術を磨いて、早く先輩選手のように、スピードが出ている状況でも、自由にボートを操るようにならなくては、頑張ります！



# ママの 夢追人

チャレンジする「ひと」を応援するまち、「尼崎」。尼崎在住のプロフェッショナルが、日々チャレンジし、世界を切り拓いていく姿をご紹介します。

## 「おいしかった」が原点

「毎日朝から30種類近いお菓子を食べるのが仕事です！」こう話すと、うらやましいなああって言われることもあるのですが、品質を管理するための、毎日が真剣勝負。食べるのも大変なんです。今働いている部署は商品開発部。マーケティングの部署から届く依頼書に基づいて、新商品のイメージを膨らませます。素材の選定はもちろん、原価計算もパティシエが行うんです。季節、イベントなど、新製品の企画は様々ですが、常に先を見通しながらの仕事です。例えば、クリスマス商品は、半年前の5月に開発を終えてなくてはいけません。

### お客様の笑顔を求めて

お菓子づくりに興味を持ったのは小学生の時。母と一緒にパウンドケーキを作りました。クリスマスにはスポンジを買ってきて、生クリームで飾り付けもしました。できたケーキを近所の人にプレゼントして、「おいしかった！」と喜ばれてうれしかったことを覚えています。仕事にしている今も、食べた人の笑顔が最大のモチベーション。お店に行けば、どれ

### 感性を磨くことが大切

お菓子は、おいしさはもちろんですが、見た目に美しいことも大事です。味覚だけでなく、色々な感覚を楽しませること。そのため、味の組み合わせやデザインの勉強を兼ね、話題の洋菓子を調べに東京へ出向き、3日で10軒の店を回ったことも。会社から本場ヨーロッパでの研修にも参加させていただきました。そこでは芸術品のような街



並みを歩くだけで感性が磨かれ、原材料や成形の仕方など、日本との違いに驚きと感銘を受けて帰ってきました。

### コンテストで腕を磨く

技術や感性を磨くためには、コンテストに挑戦することも大切だと思っています。2017年は、5年に一度開催される全国洋菓子技術コンテスト開催年。前回の大会で優勝しましたが、まだまだ技術を磨いていきたい。予選会を兼ねた大会では、これまででこなかった色味を抑えたシックな作品に挑戦しました。入賞し、出場権を得た今、全国大会に向けては、また新たなデザインでチャレンジします。

# 橋口 将輝

パティシエ

株式会社エーデルワイス



橋口 将輝(はしぐち まさき)

京都府出身。神戸市の専門学校に通った後、2005年にエーデルワイスへ入社。就職を機に尼崎市へ。商品開発部に所属。2012年全国洋菓子技術コンテスト農林水産大臣賞、2014年西日本洋菓子コンテスト農林水産大臣賞最優秀賞、2015年洋菓子フェスタ in Kobe神戸市長賞、他受賞多数。